

まちかどの元気印

日本共産党

市会議員



山田こうじです!

2020年8月2日

NO.240

事務所：西院上花田町36-3

電話：222-3728

携帯：090-3970-4701

山田こうじ共産党検索

新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえPCR体制強化など緊急申し入れ!



7月21日、日本共産党京都市議員団は、京都市立病院でクラスター感染が発生する等、新型コロナウイルス感染症が再び広がりを見せる中、市長に対し「新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえた緊急申し入れ」を行いました。

申し入れは、次の3点について行いました。

一、PCR検査体制について、爆発的な感染拡大を想定し、大学研究機関等の協力も得て検査能力を拡充すること。PCR検査は、濃厚接触者にとどめることなく、感染者との接触が疑われる人すべてを対象として実施すること。医療機関・福祉関係

施設・家庭・職場についても、発症等の48時間前の接触に限定せず、さらに対象を拡大すること。

一、ただちに保健師を含む医療衛生分野の職員の増員を図ること。保健所を各行政区に戻し、機能を強化すること。

一、国に対して、「Go Toトラベル」キャンペーンの開始を見送り、観光関連業者への直接支援を行うよう、求めること。

申し入れて三科管理監は、「経済活動をすすめる上でも感染拡大封じ込めが重要」「特措法にかかわらず感染症法で基礎自治体としてできることをやる」と答えました。

国道162号線土砂崩れで倒れ発生! 2年前の豪雨での倒れ処理を急げ!

7月8日の早朝に降った雨で、京都市内でも大きな被害が発生しました。

162号線、高崎市宮駐車場から北へ150m付近で土砂崩れが発生しました。

通行止めが続く中、11日(土)に倉林明子参議院議員、吉田幸一

4区国政委員長、島田敬子府会議員、西村善美前市会議員と共に現地を視察し、土木事務所職員から現状をお聞きしました。

市内から京北を結び、通勤や輸送、JRバスも運行する主要な幹線道路です。

私は、現地調査も踏まえ、7月



20日の、総務消防委員会、行財政局の防災危機管理室長に、土砂崩れの原因や復旧工事の現状について質しました。また、まじかに迫った台風シーズンに向けた安全対策を急ぐよう求めました。

第183回 暮らしのなんでも相談会

暮らしにかかわるどんなことでも... 金融・債務の整理・相続・税金・労働・医療・健康保険料の支払い・地域要望等、どんなことでも結構です。

8月8日(土) 午後1時半~3時

会場 安井後援会事務所(安井小学校前)

主催 日本共産党市会議員 山田こうじ事務所

佐々木 義人 801-9379

まいとおおきに

山田こうじです!

生活保護に関する要望で福祉事務所懇談会に参加しました。コロナ禍での保護の申請状況、柔軟な対応や様々な保護行政についての要望が出されました。コロナの影響で保護受給者の収入減少など、通常3カ月毎の収入状況の把握が毎月行わなければならない、新規申請者など、ケースワーカーが時間外労働で多忙になっている様です。捕捉率を引き上げるためにも、水道局やライフライン事業者との連携で保護に結びつける努力を求めました。収入が大幅減少した自営業者など営業用の資産、自動車の保有など柔軟な対応を求めました。保証人や更新時のトラブル、住宅扶助が低すぎる等住宅問題。高齢単身世帯の持ち家などのリバースモーゲージ適用等、住居確保の問題も多く出されました。入院に伴い一旦停止された保護を再開するときの資産調査等々についての質問や、医療関係者からは、無料低額制度活用を求められた実態を示し、生活保護が優先されるべきだとの指摘もありました。限られた時間で様々な課題が明らかとなりました。

